

# 令和5年度 金井中学校 PTA 臨時総会議案書

## 【議案】・・・PTA 組織改革を進める

- ① 部会・委員会及び役員を廃止し、公募スタッフ等による学校サポート形態への変革
  - ② 令和6年度を改革0「ゼロ」年度として、規約整備を進める
- 以上について、賛否を問います。

## 【組織改革を目指す経緯】

### 1 現状

- ① 組織（部会・委員会）維持のため全家庭数（約150家庭）の3分1程度の役員選出が必要であるが、選考に関わる方々の時間的精神的な負担は大変厳しいものがある。  
 <背景> → 選考会議への欠席、委任状の未提出、推薦に応じられない、小学校や兄弟での役員履歴が足かせ等。
- ② 役員選考に関しては、2002年頃から規約改正に取り組んでいるが、少子化や保護者の就労状況（多忙化）の変化に対応できず、現在も抜本的解決には至っていない。

### 2 昨年度（令和4年度）の役員選出状況と今回の改革イメージ

現規約（選出手順）	昨年度の実態	改革案イメージ
1月 全会員参加による選出会議 ① 地区別会議（3区分） →各地区から本部役員2名選出（計6名） →その6名から、本部役員を互選 会長、副会長（2）幹事長・庶務幹事・会計幹事 ② 学年別会議 →委員長・副委員長・委員2名を選出 →各専門部員を8名選出（育成・環境保健・広報） ③ 専門部会議 →正副部長を選出 2月 総会…承認・引継 4月 新入生の役員決め	参加者（R4記録） ・対象会員数102 ・参加者 68 ・欠席者 34 ・役員免除者 8 ・役員希望者 42  【反省】 ・出欠・委任状未提出 ・本部役員選出難航 ・推薦を断る ・小学校や兄弟での役員履歴が足かせ等	☆PTA行事をゼロベースとし、行事ごとにサポートボランティアを募集する。 ・各委員会の廃止 ・役員選出の廃止 ・本部を事務局と改め、相談・推進役としてのコーディネーターを公募（既定業務なし）。…必要に応じて、行事を企画・運営することも出来る。  ※会員が、義務感よりも主体性をもって参加できる体制への変革を目指す。

### 3 事前調査の結果（会員アンケート：9月22日～10月3日実施）

- ① 回答数 96 / 150 家庭（回答率64%）
- ② 改革に賛成 83 / 96 回答（86%） ※83 / 150 家庭（55%）

上記アンケート結果は、当校のホームページに掲載してありますのでご参照ください。

### 4 議案決定の経緯

- ① 事前調査（Web 回答） 令和5年9月22日～10月3日
- ② 本部役員会 令和5年10月14日（土） 承認
- ③ 常任委員会 令和5年11月 1日（水） 承認
- ④ 臨時総会 令和5年11月29日（水） 18時～、金井中学校

# アンケートから見えた主な課題と改革のヒント

No.	主な課題	改革のヒント
1	人員確保はできるの？	「年間行事計画」「ホームページ」「配信メール（校支援）」を活動して、学校行事、学年行事の案内と共に協力頂きたい内容を提示して募集をかけます。 例) 本年度の「ふれ愛発表会」では、1週間程度の呼び掛け期間で10名の協力を得られました。
2	必要経費の徴収は？	これまで通り、PTA会費として徴収させて頂きたいと考えています。ただし、専門部会や学年委員会の活動はありませんので、減額できると考えています。
3	学校・保護者・地域が疎遠になるのでは？	この関係性は、大事に且つ強めていきたいと考えています。学校からのピーアールがポイントとなります。 取り組み例としては、「No.1」とも関連させながら、地域の方にも呼び掛けをしていきます。
4	環境整備等はどうするの？	草刈り作業などは、学校の教育活動として平日の午後を考えています。その際に、保護者や地域の方に協力を呼び掛けていきます。 また、PTAで予算化ができれば「シルバー人材への作業委託（一部）」や「学校・家庭・地域の連携促進事業（市から助成あり：700円/1h）」を活用し、作業の分散や軽減を試みます。 <u>※シルバー人材委託料資料（目安）</u> 人件費1,220円/1h、軽トラ500円/1稼働、処分料6円/1kg
5	その他	① 会長による式典での挨拶 → 廃止します ② PTA会報 → 廃止します ③ 講演会 → 前年度もしくは年度当初に計画できれば予算化は可能です ④ PTA会費の調整 → 現行、年間3,000円（300円×10回）※③の執行見込がなければ、下半期からの調整は可能です。
6	【令和6年度を改革0「ゼロ」年度として、規約整備を進める】とは？	① 既存のPTA主催行事を一旦廃止します。 ② 学校・学年行事等への保護者参加や役員ボランティアの機会を増やします。 → ボランティアの参加が得られない場合は、生徒と職員でできるサイズ（内容）にします。 ③ ご理解・ご協力をいただき参加可能な会員の皆様から、公募コーディネーター（仮称）に応募いただき、組織改革の整備を一緒に進めていきます。 ④ 市P連等への加盟は継続した上で、役員ローテーションの対象外としていただくことで相談中です。

※ 会員が、義務感よりも主体性をもって参加できる体制への変革を目指します。